

ここが聞きたい!!

一般質問

4議員が村政を問いました

公共建築物等

木材利用法の取り組み



五十嵐正雄議員

1 公共建築物等木材

利用法の取り組み

問 この法律の目的は、国や地方公共団体が率先して木造化等を進めることにより、林業の健全な発展、森林の適正な整備等に寄与することとなっております、

国の責務や、基本方針を受け、北海道においても平成23年3月に「北海道地域材利用促進方針」が決定されました。

北海道の森林から産出され、北海道で加工された木材を「地域材」と位置付け、その利用を

促進することが森林資源の循環利用による林業の再生や山村地域の活性化、地球温暖化の防止等に貢献することを意義として、公共建築物をはじめとする幅広い分野で地域材の利用促進を取り組むこととなっています。

市町村においても「市町村方針」を策定することとなっています。

村の取り組みを伺います。

中村村長

村においてはまだ市町村方針は策定しておりません。

しかし本村においても木材資源の活用という大きなテーマがありますので公共建築物へ積極的な木造化、木質化を図るために基本的な考え方を示し仮称「占冠村地域材利用促進方針」

を策定するために検討中です。

問 この「占冠村地域材利用促進方針」を作成するに当たっては、林業振興室だけの取り組みではなく全庁あげて取り組むことが必要と思いますが村長の考えを伺います。

中村村長

方針を作成するにあたりましては、振興室が所管しなければなりません、役場内の各課、教育委員会の協力を得て横断的に取り組みます。



道産材を使用した牛舎の例

議会は、どなたでも気軽に傍聴する事が出来ます。

- ・傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。
- ・途中入場や途中退場も自由です。
- ・傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。
- ・議場は、総合センター(役場庁舎)の3階です。お気軽においでください。



傍聴席

今後の予定

□ 6月定例会

→ 6月13日(木)：午前10時～
14日(金)：午前10時～

・高齢者の福祉対策 ・学校給食のアレルギー対策



木村一俊議員

1 高齢者の福祉対策

問 誰もがいつまでも住み慣れたこの村で安心して暮らし続けられるような施策が望まれます。

高齢者福祉施設建設の進捗状況をお聞きます。

中村村長 社協（社会福祉協議会）と小規模多機能型居宅介護施設の運営について協議を進めているところです。

問 施設ができたとき、サービスを受けられない空白の期間は発生しますか。

中村村長 何日間かできると思いますが、サービスは低下しないようにします。

問 社協の運営に村が関与していくつもりがありますか。

中村村長 補助金を出しているので、村から意見を申し上げることはあります。

問 小規模多機能型居宅介護サービスを行う人的基準として代表者、管理者、常勤看護師または、准看護師が必要とされますが。

中村村長 社協が運営しているとの結果が出れば手配を進めます。

問 現在村の介護給付費は総額で1億弱の状況です。社協はこのうち約1千3百万円しか得ておらず、残りは他市町村に支払われている状況です。

介護事業所の展開が一番早く手軽な企業誘致と、雇用創出であり、村のお金や住民を外に出さない、そして住民の安心と喜びをもたらす施策であると思います。

定期巡回、随時対応型訪問介護・看護や夜間対応型訪問介護というサービスがあれば、今ま

でどおり、在宅での生活をこの村で続けられます。

村長の考えをお聞きます。

中村村長 私も在宅サービスの充実を考えていかなければと思います。

問 福祉灯油の支給状況と経費は、どうなっていますか。

中村村長 一世帯あたり1万5千円で、実績は41世帯61万5千円です。

問 対象者の拡大や支給期間を増やす考えはありますか。

中村村長 見直しもあるかと思っています。

問 雪や寒さによる防災対策も十分に配慮されなければならな

いと考えます。村ではどのような対策を考えていますか。

中村村長 冬期間の防災対策はどうあるべきか、課題として捉えています。

2 学校給食のアレルギー対策

問 学校給食におけるアレルギー対応について、昨年12月に調布市の小学校で給食による死亡事故が報道されました。

このような痛ましい事故から学び、より一層安心で安全な提供がなされるように三点質問します。

一点目は、対象児童生徒数についてお聞きます。

藤本教育長 就学前検診や、体験入学時に保護者の方へ、アレルギー関係の調査をしています。

占冠中央小で1名、トマム小中学校で4名の対象者がいます。

問 アレルギー疾患対応の学校生活管理指導表を活用してはいかがですか。

藤本教育長 何か改善策があればと思いますが、保護者の方がその内容を把握していると考えています。

問 給食でのアレルギー事故を防ぐには、誤ってアレルギーを起こす食材を食べてしまう誤食を防ぐ対策づくりと発症した場合の緊急対応の準備の双方が必要となります。

二点目は、代替食と除去食の提供の状況をお聞きます。

藤本教育長 いずれも対応していない状況です。

問 三点目は緊急対応についてですが、今回はエピペン注射（自己注射剤）の遅れが死亡につながった要因と考えられます。

エピペンの常備と対応について教育長の考えをお聞きます。

藤本教育長 エピペンを何本常備できるかわかりませんが、緊急時に備えることも必要と考えています。



エピペン

問 緊急対応マニュアルの作成や校内研修の状況を伺います。

藤本教育長 学校で作っている危機管理マニュアル、道が作っている危機管理の手引きがあります。

・東日本大震災被災地と防災 ・学校における体罰



山本敬介議員

1 東日本大震災 被災地と防災

問 震災から2年が経過しました。合わせて2万860名の方がこの震災と震災関連で亡くなっています。

昨年10月に被災地へ行かれて、村長は新年度に、どのような支援活動を考えているのか伺います。

中村村長 新年度において新たな政策的予算は盛り込んでおりません。

ただ村といたしましては、今までどおりの支援をしたく、予算措置をしています。

問 住民の被災地ボランティアへの支援は可能ですか。

中村村長 現在の条例、規則の範囲内で積極的にできると思っています。

問 福島第一原発は全く収束しておらず危険な状態です。しかし、村の放射能測定は、どうして一カ月に一度から三カ月に一度になったのか理由を伺います。



放射能測定風景

中村村長 放射能の測定は、平成23年8月から村内6カ所で毎月測定し、村広報、村HPで公表してきました。

測定値は0・036マイクロシーベルトから0・059マイクロシーベルトとなっています。

今回これまでの測定結果の推移、北海道の放射線量モニタリングの結果が毎日公表されていることもあり、三カ月に一度に変更しました。

問 放射線量測定器を村が持っているのは非常に評価していますが、3・11を経験して、非常時に国が言うこと、報道機関が言うことは嘘ではないかと、多くの方が思っています。

信用できる村が一カ月に一度しっかり測ってくれるのは、安心感につながります。保育所、小学校など保護者にヒヤリングし検討いただきたい。もう一度伺います。

中村村長 保護者の意向を聞いて検討したいと思います。

2 学校における体罰

問 昨年末の12月23日に大所市の桜宮高校の2年生男子が、所属するバスケットボール部顧問の男性教諭から受けていた体罰で自殺した問題が大きく社会問題になっています。

この体罰問題について教育委員会の認識を教育長に伺います。

藤本教育長 体罰は教師によるいじめであり、自殺した高校生の男子、そしてそのご家族の気持ちを思うとやりきれないと思います。

体罰は児童生徒の人権や人格を侵害する行為であると共に、学校教育法第11条において現に禁止されているものでありますので、いかなる理由があっても絶対に許されない行為だと考えています。

問 村内の体罰の現状を教育委員会として把握をされているのか伺います。

藤本教育長 文部科学省が体罰について報告するよう都道府県教育委員会に通知したことを受けて、本村においても体罰の実態調査を実施しています。

調査は、教職員、小学校は保護者、中学校は生徒と保護者を対象に行い、全て封書で直接教育委員会にいたって確認しましたが、本村の学校では、学校生活、部活動において体罰行為があったという回答はございませんでした。

問 社会教育の分野である、家庭や社会活動における体罰についても伺います。

藤本教育長 地域の活動等でも会議等の中でも機会がある毎に喚起していきたいと思っています。

3 給食の放射能検査

問 文部科学省は「学校給食モニタリング事業」を全国で行っています。道内では70の調理場を対象に昨年の12月から行われております。

これは特定の日の給食メニュー全てを放射能検査するというものですが、占冠村が配給を受けている富良野市の給食センターでは、放射能検査やるべきだという声があがっているにもかかわらず、どうしてこの事業に取り組まれないのか伺います。

藤本教育長 公開されているこの事業の実施一覧結果を見ますと、上川管内で実施しているのは鷹栖町と上川町ということです。

広域連合に対しては、再度私の方から実施を検討してほしいと伝えたいと思います。

人口流出ストップ

村内で働く場所の確保



長谷川耿 議員

1 地方公務員の給与削減と地方交付税の配分

問 政府は、このほど地方公務員の給与水準を、国家公務員並みに引き下げ（7・8%）、削減と同額分を、防災や地域活性化事業に充てる、新たな財政支援を行うことになりました。村長の考えを伺います。

中村村長 今回の地方公務員給与と地方交付税の枠組みですが、地方交付税は、地方の固有財源で、こういった制限のある財政措置を要請してやることは地方自治体の自由裁量権を制限することになりますので、遺憾と考えています。

問 2月9日の道新で、道内160市町村、国を上回るという報道がありました。占冠村のラスパイレース指数

（※）が国を100とした場合、札幌市に次ぎ二番目の108・5の高さであります。国から給与の削減を強いられるような気がしますが、その対応と、削減額を教えてください。

中村村長 国からの要請は必ず実施しなさいという内容ではないと認識しています。過去において村は独自の削減をしており、現在は手当の加算額の減額を行っていますので、国の要請には、対応できないと判断しています。

実施しないからといって、ペナルティがあるという話は伺っていませんが、現状が変われば検討したいと考えています。人件費削減分は1717万円と試算しています。

※ラスパイレース指数
国家公務員と地方公務員の基本給与額（給与のみ）を比較する指数。
ただし、国家公務員には幹部職員等は含まれない。

2 働く場所の確保

問 占冠村に求められている喫緊の課題は、これ以上、人口を減らさないことだと思います。

村づくりの基本は人づくりであって、人のいないところには、村づくりは、できないと思います。

私は人こそが地域の活性化を生む最大の資源であると思っています。

① 村内で働く場所の確保
② お年寄りの方々が、安心して暮らせる環境の整備

この二点について新年度の予算案等々を通じて村長の考え方を具体的に伺います。

中村村長 村内で働く場所の確保ですが、一つは平成22年度に活力ある村づくり対策条例を改正しました。

また、定住促進条例を制定して、企業誘致、新規の開業支援、移住・定住の促進を図っています。

平成23年度には、地元企業の支援が重要であることから、占冠村地域企業振興条例を制定して、地元企業の人材育成、雇用支援、多角化支援を行っています。

す。
新年度は、これらの施策を継続して、雇用の場の確保を図りたいと考えています。

問 条例などを作っても実際に働く場所がなく、働く場所を確保する必要があります。

私は平成22年に5回ほど、「森林資源を活用した人口流出の歯止め策」を申し上げました。

今回策定された、総合計画の中でも森林資源の活用問題があります。

これについては昨年林業振興室が新設されていますが、村長はどのように考えていますか伺います。

中村村長 以前に議員から指摘があり、林業振興室を設置しています。

総合計画の答申にあるように、やはり林業を核とした産業の育成、振興を一つの柱に据えなければならぬと考えています。

森林資源の活用については、公共施設への木質バイオマスの導入を、なるべく早い段階で検討していきますが、移住定住、中小企業の誘致、既存企業支援、多角化経営など、地につ

た施策がまず必要ではないかと考えています。

問 お年寄りの方々が安心して暮らせる環境の整備が必要と思いますが、村長はどのように考えていますか。

中村村長 一つは予約型乗合交通事業を継続します。交通弱者といわれる方々の、足になるものが必要であると考えています。

また、在宅福祉を補完していく施設として、小規模多機能型居宅介護施設を建設して、少しでも村に長い間とどまっていたきたいと考えています。



予約型乗合交通（ハイヤー）

村政

執行方針質疑

木村一俊議員

1 地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊でどのようにに集落支援、移住推進を図るのですか。

中村村長 3名採用し、1名は林業振興室、2名を集落支援と移住促進にあて、集落の意見を聞きながら村政に反映していきたいです。

2 高性能林業機械

問 高性能林業機械の取得は、行政か民間のどちらですか。

中村村長 一つの事業体を作り、村が支援して、導入していく考えでいます。

3 猟区設定

問 道東道や富良野方面へ向かうルートにもかなりの車が走行している現状で、猟区を設定した場合、流れ弾などの危険はないのですか。

た場合、流れ弾などの危険はないのですか。

中村村長 野放しにしておくより、猟区を設定して狩猟者の管理をした方が村民の安心安全また、旅行者の安全安心につながると考えます。

4 商工業の振興

問 村内雇用の拡大と地元商工業の振興を図るためにも、なるべく地元企業に優先的に発注するような配慮が必要では。

中村村長 地元が発注できるものは地元が発注するよう努力しています。

5 双民館の管理

問 双民館の今後の管理体制はどのようにしていきますか。

中村村長 平成25年度は臨時職員で対応の予定です。

6 総合計画での医療体制

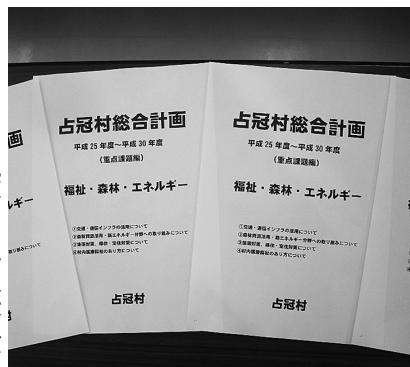
問 見直しされた占冠村総合計画では村に複数の医者を確保していくと示されています。

画では村に複数の医者を確保していくと示されています。

去年トマムに行ってもいいと言ってくれたお医者さんをなぜ断ったのですか。

中村村長 総合計画の答申は総合医養成プログラムを使つて、複数医の確保をしてはどうかというものです。

現状は二人の医師を抱えるのは財政的に難しいということので断りました。



見直しされた総合計画

7 高速道のパークینگエリアの出店

問 村の商工業の活気のある中心であり、希望ともいえるべき高速道パークینگエリアの出店について村政執行方針では全く触れていません。

占冠村あげて協力すべきと思

います。

中村村長 あの用地は道路用地で占有許可を受けて出店している状況です。条件整備について、今後もネクスコを通して意見を述べてまいりたいと考えています。

五十嵐正雄議員

1 移住・定住の受け入れ態勢

問 移住定住の受入住宅は、あまりにも思いやりがなく、この村に長く住んでもらいたいという思いが伝わりません。

また、全村的な取り組みとなつておらず、受入態勢・住宅問題等を含め今後の取り組みについて伺います。

中村村長 現在駅前の楓において、短期間の「ちよつと暮らし」と長期の「移住体験」を受け入れていますが、長期の人には貴重な仕事をしていただいています。

長期間住むとなると住まいは欠くことのできない要件です。福祉施設や林業振興が本格的になつてくると、住宅の対応も必要です。平成25年度中に一般

住宅の方向性、考え方を出示す。

2 新規就農者対策

問 就農したいと意欲を持つてこの村に来てもらつても、土地の流動化が進まないために受入態勢が出来ていません。

農業委員会等々、関係団体と議論を進め受入態勢を確立すべきと思うが、村長の考えを伺います。

中村村長 農地があつて流動化がしていない、新規就農者が入つても、大規模な土地の取得は困難な状況です。

農業委員会等、既存の農家の協力を得ながら進めていきます。



駅前の楓

新規就農者の支援体制は、村、農業委員会、農協、普及センター等で協議会を立ち上げて支援します。

3 木質バイオマス等

問 木質バイオマスの取り組みは一定の準備期間が必要と思います。

すぐに取り組める課題として、昨今、灯油等の燃料が高騰しており、薪の利用が増えてきています。

間伐等で産出する端材、未利用材を薪として生産し希望する村民に販売する等の取り組みを進めながら、木質バイオマスを検討し具体化することが必要と思います。村長の考えを伺います。

中村村長

木質バイオマスはチップからはじまって、ペレット、パウダー等があり、一番早くやれるのが薪と考えております。

村で展開していくにはどれが一番よいのか林業振興室で検討しており、方向性が見いだせれば村民にPRしてまいりますし、できれば公共施設の中でも取り上げて進めたいと考えています。

小峰義雄議員

1 地域高規格道路

問 旭川と占冠を結ぶ地域高規格道路の計画路線から調査区間への昇格に取り組むといわれていますが、今後の見通しについて伺います。

中村村長

占冠・富良野間は昇格を待つてやるのであれば非常に時間がかかるので、協議会とは別に富良野市、南富良野町、占冠村で現国道を活用した改良を進めるとの方向で協議中です。

2 新エネルギー

問 新エネルギーの導入の可能性について検討することですが、今年度中に結論を出されるのか伺います。

中村村長

現在木質バイオマスを研究、検討しています。できれば平成25年度中に結論を出して公共施設とか民間にも利用できるものがあれば取り組みたいです。

3 広域観光の推進

問 広域観光の推進ですが継続事業、新たな事業について伺います。

中村村長

富良野美瑛広域観光は継続的に毎年行っています。新規事業は現在のところありませんが、引き続き富良野美瑛を中心とした広域観光には取り組みたいです。

占冠村は南側の出入口になるので環境整備もそれに付随して必要になってくると思っています。

4 住民懇談会

問 住民懇談会を今年は更に踏み込んで取り組みたいと思いますが、どのように工夫されますか。

中村村長

住民懇談会は、村からの情報提供と住民の意見を聞いて施策に反映できるものになっています。

ただ来ている人が限られていることや、遠慮がちな方もおられ意見や考え方をくみ上げることができない状態です。

平成25年度は地域おこし協力隊に地域に入っていたき住民

の意見、要望等を聞き集落の方向性とか、振興策について検討していきたいと思っています。

5 福祉施設

問 小規模多機能居宅介護施設について方針を決定された訳ですが、この施設は登録者25名利用となりますので、ほかに各種サービスを望む人への施設のあり方が課題であると述べています。

そのことについてどのように考えているのか伺います。

中村村長

小規模多機能施設を建てたから全てがカバーされるとは思っていません。いかに在宅福祉を充実させていくのかを考えています。

6 農業振興地域

問 農業振興地域整備計画を策定しますといっていますが、取り組み状況と将来期待される成果について伺います。

中村村長

高速道路の関係もあり農地の状況が変わっていき

ます。農地として活用する土地を明確化し農業施策に反映していきたいです。

補助事業等もあり基礎処理として押さえておきたいと考えています。



金山峠

長谷川耿聰議員

1 地域高規格道路は

問 地域高規格道路は、いつ頃旭川と占冠が結ばれますか。

中村村長

現在、計画区間で、占冠村から富良野市まで簡単な絵が描いてあります。

これが調査区間にならなければ、いつとは話すことができま

せん。

ただ生活路線で、救急医療に必要な道路なので、特に金山峠の改良ができないか、開発に陳情していきます。

2 新規就農者対策

問 農業関係で新規就農者をどの場所に受け入れますか。

中村村長 新規就農先は、希望する営農類型を確認して、その人にあつた場所を選定したいと考えています。

3 予約型集合交通

問 予約型乗合交通の、運送業者に対し、助言、協力は当然と思いますが、自立についてどのように考えていますか。

中村村長 タクシー事業が始まって1年なので、村民に浸透していない状況です。

先日、事業者から利用促進の新聞折り込みがありました。

一つの目安が分かれば、これからタクシーの利用も増えて行くのかと思っています。

また、春の住民懇談会などで、村びと交通以外に、タクシー事業もやっていることを、伝えたいと思っています。

4 小規模多機能型 居宅介護施設

問 施設の建設は決まりましたが、建設後の人事管理や、資金の問題など、どのように考えていますか。

中村村長 現在、社会福祉協議会に、運営の委託を検討していた、だいています。

担当レベルでは職員の確保、維持費、運営方針などについて話し合いを始めているところです。

5 占冠神楽

問 産学官連携のため、小中学生の体験学習をはじめ新能など、事業の共催を進めてまいります、とありますが役者不足で困っている占冠神楽を含め、村長の考え方を伺います。

中村村長 星野リゾートと村と北大で産学官の連携を行っています。（雲、雪、川の学校）占冠神楽のネックは後継者不足で、実際演じる人がいないことです。若い人のいる職場に声かけなどをして、勧誘に努めたいと思っています。



後継者に伝えたい神楽

6 資料館建設

問 昭和35年来の消防車は、道立近代美術館で勇壮な姿を見せた経緯がありますが、残念ながら今は農協の倉庫に眠っています。

何とか日の目を見るように、資料館を建てられないか、村長の勇断ある答弁をお願いします。

中村村長 今、赤い消防車を入れるために郷土資料館を建設する考えはありません。

いつまでも農協の倉庫に眠らせておくという訳にはいきませんので、その扱いを所管する教育委員会、消防職員の意見を聞きながら検討します。

佐野一紀議員

1 福祉の基本姿勢

問 福祉の基本姿勢では小規模多機能型居宅介護施設建設の方針が決まりました。

同時に「各種サービスを望む人への、福祉のあり方が課題であり、施設建設と同時に解決しなければならぬ」とあります。

要介護、要支援以外の方の対応

2 火葬場の給水施設

問 今年度、火葬場の給水施設整備とありますが、どのような設備がされるのか伺います。

中村村長 給水施設は今までは沢水を利用していましたが、整備後は双珠別浄水場の水を利用しポンプで加圧しながら給水するものです。

3 赤岩青巖峽の 観光

問 ニニウ地区と中央地区を結んでいた鵜川にかかる赤岩橋が一時代の使命を終え、撤去されました。かつては赤岩のシンボルの存在であった赤岩青巖峽を挟んで各種イベントも行



火葬場